ケイコとマナブ

2016年3月11日

株式会社 リクルートライフスタイル

~「この1年間に経験した」学び事・習い事~

ケイコとマナブ 人気おケイコランキング ミドル・シニア編

●ミドル、シニアでは、男女とも圧倒的1位が「英語」。年齢とともに語学学習意欲が高まる傾向
●女性では「ヨガ・ピラティス」「フィットネスクラブ」が年齢を問わず人気
●ミドルでは男女とも「簿記」「ワード・エクセル」など事務職のための学び事が人気上昇
●年齢が上がるとともに、特に趣味系の習い事で男女差が大きくなる傾向

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：淺野健）に設置された社会人の学び事・習い事（※）に関する調査機関である「ケイコとマナブ総研グループ」は、学び事・習い事事情を把握するため全国の20～34歳の働く男女を対象に「人気おケイコランキング」調査を毎年実施してきました。本年はさらに、ミドル（35～49歳）、シニア（50～64歳）に対象を広げ、働く人の学び事・習い事事情についてアンケートを実施しましたので、その結果をご報告いたします。
※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む

女性 ミドル・シニア 人気おケイコランキング~この1年間にやった学び事・習い事~ ・・・P.2・4・5

●ミドル・シニアとも「英語」が1位。年齢とともに語学学習意欲が高まる傾向
●「ヨガ・ピラティス」「フィットネスクラブ」は年齢帯を問わず人気

女性では、ミドル・シニアともに、1位は「英語」。「韓国語」「中国語」も年齢とともに回答率があがり上位になっており、中高年の外国語学習意欲の高さがうかがわれる。
「ヨガ・ピラティス」「フィットネス」は年齢を問わず人気。
シニアでは学ぶ目的として「好きなことに没頭するため」が上位となり、趣味系のジャンルが特に人気が高い傾向となった。

男性 ミドル・シニア 人気おケイコランキング~この1年間にやった学び事・習い事~ ・・・P.3・4・6

●「英語」「簿記」が年齢帯を問わず人気
●ミドルでは「社会保険労務士」「行政書士」などの国家資格が上位に
●シニアでは趣味系のジャンルの人気が高い

「英語」「簿記」「ファイナンシャルプランナー」など上位の項目は年齢を問わず人気。一方、ミドルでは「行政書士」をはじめ独立も視野に入る難関国家資格、シニアでは「プライベートの充実」を目的とする「書道」「社交ダンス」などの趣味系の習い事の人気が高くなっている。

男女 ミドル・シニア 学ぶ手段、頻度、予算の特徴 ・・・P.7-9

●男女とも、年齢が上がるごとに独学を選ぶ率が下がり、通学形態を選ぶ率が高まる
●年齢帯が下がるほど、また男性のほうが、週当たりに通う頻度が高い
●予算は、女性は年齢が上がるごとに減少傾向だが、男性は上昇する傾向

「学びの手段」「通う頻度」「支払い方法」「かけた金額」「予算」それぞれの項目で、性別・年齢による特徴が出た。女性よりも男性のほうが年齢帯による変化が大きくなっている。

【本件に関するお問い合わせ先】
https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press

・ミドル（35～49歳）の女性では、「英語」「ヨガ・ピラティス」が同率１位に
・また、オフィスの基礎スキルである「簿記」「ワード・エクセル」が前年よりも人気上昇

ミドルの女性では、「英語」が1位をキープ。
2013・14年度で2位だった「ヨガ・ピラティス」は2015年度では同率1位となった。
「ケイコとマナブ総研グループ」では、気軽に体験できる機会を実施している拠点が全国的に増えていることが「ヨガ・ピラティス」の人気上昇の要因と考察している。
また、「簿記」（2014年6位→2015年4位）、「ワード・エクセル」（同10位→5位）が順位を上げた。
求人環境の改善が続いていることで、事務職への就・転職を目指した人がオフィスで役立つスキルの習得へと向かったのではないかと考えられる。
他に順位を大きく上げたのは「韓国語」（同21位→11位）、「ピアノ」（同16位→12位）、「プリザーブドフラワー」（同29位→14位）。

学び事・習い事の実施目的では、「教養・知識を深めるため」が1位。ついで「仕事のため」「プライベートを充実させるため」と、現状の暮らし・仕事の改善に関連した項目が上位にならんだ。

■この1年間に実施した学び事・習い事 ベスト20（複数回答）

順位			この１年間に実施した学び事・習い事
15年	14年	13年	35～49歳女性
1 位	1 位	1 位	英語
1 位	2 位	2 位	ヨガ・ピラティス
3 位	4 位	3 位	フィットネスクラブ
4 位	6 位	4 位	簿記
5 位	10 位	7 位	ワード・エクセル
5 位	3 位	4 位	家庭料理
7 位	7 位	11 位	医療（看護・医療事務など）
7 位	5 位	6 位	パン
9 位	8 位	14 位	お菓子
9 位	8 位	9 位	生け花
11 位	21 位	23 位	韓国語
12 位	16 位	16 位	ピアノ
12 位	11 位	14 位	書道
14 位	12 位	7 位	茶道（抹茶）
14 位	29 位	36 位	プリザーブドフラワー
16 位	16 位	16 位	ファイナンシャルプランナー
16 位	14 位	12 位	エアロビクス・ボクササイズ
16 位	12 位	9 位	着付け
19 位	31 位	21 位	絵画
19 位	38 位	26 位	フランス語
19 位	22 位	19 位	アロマテラピー
19 位	19 位	28 位	ホームヘルパー

■学び事・習い事 を実施した目的（複数回答※3つまで）

学び事・習い事の目的	回答率（%）
教養・知識を深めるため	33.3
仕事のため	22.4
プライベートを充実させるため	21.9
レベルアップのため	21.9
好きなことに没頭するため	21.4
ストレス発散・気分転換のため	20.5
健康のため	15.7
将来に備えるため	13.3
就職・転職のため	12.4
特技を作るため	11.9
人との出会いづくりのため	7.6
美容のため	6.2
独立・起業のため	5.2
ダイエットのため	3.3
その他	1.4

※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。　※「その他」の回答を除いて掲載
※オレンジ・ブルーのアミガケはそれぞれ、順位・回答率がともに前年度よりアップしているもの・ダウンしているものに施した。
（15年 N＝210、13年-14年 N=518）

人気おケイコランキング～ミドル・男性　　男 性

・ミドル（35～49歳）の男性では、1位「英語」、2位「簿記」をはじめ 上位の顔ぶれは前年と同様
・スポーツ系の習い事、独立開業が視野に入る法律・会計系の国家資格が 多数順位を上げ、学ぶ対象の多様化が鮮明になった

2013年より調査を開始したミドルの男性については、学び事・習い事の多様化傾向が鮮明となった。
「英語」「簿記」の1位・2位をはじめとする上位の顔ぶれは前年と変わらないが、順位を上げたのは「ゴルフ」（2014年4位→2015年3位）、「テニス」（同11位→6位）、「ヨガ・ピラティス」（同19位→13位）、「護身術」（同24位→13位）といったスポーツ系、「社会保険労務士」（同11位→6位）、「行政書士」（同14位→9位）、「税理士」（同20位→11位）といった独立開業まで目指すことができる法律・会計系の難関国家資格など。
「書道」「韓国語」「スペイン語」「アクセス」といった、2013・14年度で回答率が1%に満たなかった習い事が軒並み順位を上げており、ランキングの顔ぶれは非常に多彩なものとなった。

「学び事・習い事の目的」の1位は「仕事のため」。男性のこの年齢帯は、比較的、「将来に備えるため」「就職・転職のため」といった将来に向けた投資を表す目的が上位となった。

■この1年間に実施した学び事・習い事 ベスト20（複数回答）

順位			この１年間に実施した学び事・習い事
15年	14年	13年	35～49歳男性
1 位	1 位	1 位	英語
2 位	2 位	3 位	簿記
3 位	4 位	7 位	ゴルフ
4 位	3 位	2 位	フィットネスクラブ
5 位	6 位	6 位	ワード・エクセル
6 位	5 位	4 位	ファイナンシャルプランナー
6 位	11 位	10 位	テニス
6 位	11 位	14 位	社会保険労務士
9 位	7 位	5 位	宅地建物取引主任者（現宅地建物取引士）
9 位	14 位	9 位	行政書士
11 位	20 位	17 位	税理士
12 位	10 位	21 位	ピアノ
13 位	19 位	24 位	ヨガ・ピラティス
13 位	9 位	16 位	ＷＥＢクリエイティブ
13 位	8 位	8 位	ＳＥ・プログラマ
13 位	※		空手
13 位	13 位	31 位	司法書士
13 位	24 位	40 位	護身術
19 位	37 位	24 位	書道
19 位	34 位	31 位	韓国語
19 位	20 位	15 位	ギター
19 位	42 位	59 位	スペイン語
19 位	17 位	13 位	ＣＡＤ
19 位	34 位	28 位	アクセス

■学び事・習い事 を 実施した目的（複数回答※3つまで）

学び事・習い事の目的	回答率（%）
仕事のため	42.6
教養・知識を深めるため	33.0
レベルアップのため	23.9
将来に備えるため	18.7
就職・転職のため	15.8
プライベートを充実させるため	14.8
ストレス発散・気分転換のため	12.9
好きなことに没頭するため	12.0
特技を作るため	8.1
独立・起業のため	7.7
健康のため	7.2
人との出会いづくりのため	5.3
ダイエットのため	1.4
その他	1.0

※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。　※「その他」の回答を除いて掲載
※「空手」は2015年度から選択肢に入れた項目のため、2014年度までの順位はついていない。
※オレンジ・ブルーのアミガケはそれぞれ、順位・回答率がともに前年度よりアップしているもの・ダウンしているものに施した。
（15年 N＝210、13年-14年 N=518）

・シニア（50～64歳）では、男女ともに1位は「英語」
・2位以下では男女で傾向は大きく異なり、
女性では「ヨガ・ピラティス」「フラワーアレンジメント」「ピアノ」といった趣味系の習い事が、男性では「簿記」「ファイナンシャルプランナー」「宅建」などビジネス系の資格が上位を占めている

今回初めて調査したシニア（50～64歳）については、男女ともに1位は「英語」となった。
2位以下で上位となった学び事・習い事では、「フィットネスクラブ」（女性2位・男性3位）、「ワード・エクセル」（男女ともに7位）を除き、男女で傾向が大きく異なった。
女性では「ヨガ・ピラティス」「テニス」「エアロビクス・ボクササイズ」などのスポーツ系、「フラワーアレンジメント」「ピアノ」「生け花」などの趣味系の習い事が上位。

一方男性では、2位の「ゴルフ」、9位の「書道」などを除き、「簿記」「ファイナンシャルプランナー」「宅地建物取引主任者（現：宅地建物取引士）」「社会保険労務士」「行政書士」といったビジネス資格講座が上位を占めた。
趣味系では、「写真・カメラ」「社交ダンス」が男性のみのランクイン。
また、「韓国語」（女性9位・男性13位）、「中国語」（女性17位・男性13位）とアジアの語学がそろってランクインした。

■この1年間に実施した学び事・習い事 ベスト20（複数回答）

	この１年間に実施した学び事・習い事 **50～64歳女性**
1 位	英語
2 位	ヨガ・ピラティス
2 位	フィットネスクラブ
4 位	フラワーアレンジメント
5 位	ピアノ
5 位	テニス
7 位	ワード・エクセル
7 位	生け花
9 位	韓国語
9 位	エアロビクス・ボクササイズ
11 位	絵画
12 位	編み物・刺しゅう
13 位	家庭料理
13 位	パン
13 位	着付け
13 位	ゴルフ
17 位	茶道（抹茶）
17 位	中国語
19 位	書道
20 位	医療（看護・医療事務など）
20 位	太極拳

	この１年間に実施した学び事・習い事 **50～64歳男性**
1 位	英語
2 位	ゴルフ
3 位	フィットネスクラブ
4 位	簿記
4 位	ファイナンシャルプランナー
4 位	宅地建物取引主任者（現宅地建物取引士）
7 位	ワード・エクセル
7 位	社会保険労務士
9 位	書道
10 位	テニス
10 位	ピアノ
12 位	行政書士
13 位	韓国語
13 位	中小企業診断士
13 位	中国語
13 位	写真・カメラ
13 位	社交ダンス
18 位	司法書士
18 位	絵画
18 位	ペン字

※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。　※「その他」の回答を除いて掲載
（15年 女性N＝ 208、男性N＝ 208）

年齢帯別の比較～実施した学び事・習い事／実施目的　女 性

- 「**英語**」「**韓国語**」「**中国語**」はシニアほど上位にランクイン
  年齢帯の上昇とともに外国語学習比率が高まる結果に
- 「**ヨガ・ピラティス**」「**フィットネスクラブ**」**は全年齢帯を通じ人気**

20～34歳男女について調査した「2015年度人気おケイコランキング」を参照し、過去一年間に実施した習い事・学び事を年齢帯別に比較してみると、35歳以上で1位となっている「英語」は年齢帯の上昇につれて回答率が高くなっている。「韓国語」（20～34歳:25位→ミドル11位→シニア9位）、「中国語」（同26位→26位→17位）でも同様の傾向となっており、中高年の外国語学習意欲の高さがうかがわれる結果となった。
「ヨガ・ピラティス」「フィットネスクラブ」については、年齢帯を問わず人気。さらに「フラワーアレンジメント」「生け花」「ピアノ」「テニス」といった趣味系の習い事は、シニアでより人気が高い。
逆に「簿記」、「家庭料理」「お菓子」「パン」といった料理系は年齢が上がると順位を落としている。

学ぶ目的では、年齢帯が上がるにつれて、「好きなことに没頭するため」の順位が上昇。
一方で「プライベートを充実させる」が下がる結果に。

■この1年間に実施した学び事・習い事　～年齢帯別・順位比較

20～34歳　女性	
1位	ヨガ・ピラティス
2位	英語
3位	フィットネスクラブ
4位	家庭料理
5位	簿記
6位	お菓子
7位	パン
8位	ピアノ
9位	医療（看護・医療事務など）
10位	ワード・エクセル
11位	書道
11位	エアロビクス・ボクササイズ
11位	ヴォーカル・カラオケ
11位	着付け
15位	ペン字
16位	ファイナンシャルプランナー
16位	テニス
16位	フラワーアレンジメント
19位	アロマテラピー
19位	ベリーダンス

35～49歳　女性	
1位	英語
1位	ヨガ・ピラティス
3位	フィットネスクラブ
4位	簿記
5位	家庭料理
5位	ワード・エクセル
7位	パン
7位	医療（看護・医療事務など）
9位	お菓子
9位	生け花
11位	韓国語
12位	ピアノ
12位	書道
14位	茶道（抹茶）
14位	プリザーブドフラワー
16位	エアロビクス・ボクササイズ
16位	着付け
16位	ファイナンシャルプランナー
19位	アロマテラピー、絵画、フランス語、ホームヘルパー

50～64歳　女性	
1位	英語
2位	ヨガ・ピラティス
2位	フィットネスクラブ
4位	フラワーアレンジメント
5位	ピアノ
5位	テニス
7位	ワード・エクセル
7位	生け花
9位	韓国語
9位	エアロビクス・ボクササイズ
11位	絵画
12位	編み物・刺しゅう
13位	家庭料理
13位	パン
13位	着付け
13位	ゴルフ
17位	茶道（抹茶）
17位	中国語
19位	書道
20位	医療（看護・医療事務など）、太極拳

■学び事・習い事を実施した目的　～年齢帯別・順位比較

20～34歳　女性	
1位	プライベートを充実させるため
2位	教養・知識を深めるため
3位	ストレス発散・気分転換のため
4位	仕事のため
5位	レベルアップのため
6位	将来に備えるため
7位	健康のため
8位	好きなことに没頭するため
9位	就職・転職のため
10位	特技を作るため
11位	人との出会いづくりのため
12位	美容のため
13位	ダイエットのため
14位	独立・起業のため

35～49歳　女性	
1位	教養・知識を深めるため
2位	仕事のため
3位	プライベートを充実させるため
3位	レベルアップのため
5位	好きなことに没頭するため
6位	ストレス発散・気分転換のため
7位	健康のため
8位	将来に備えるため
9位	就職・転職のため
10位	特技を作るため
11位	人との出会いづくりのため
12位	美容のため
13位	独立・起業のため
14位	ダイエットのため

50～64歳　女性	
1位	教養・知識を深めるため
2位	好きなことに没頭するため
3位	ストレス発散・気分転換のため
4位	プライベートを充実させるため
5位	レベルアップのため
6位	健康のため
7位	仕事のため
8位	将来に備えるため
9位	人との出会いづくりのため
10位	特技を作るため
11位	就職・転職のため
12位	独立・起業のため
13位	ダイエットのため
14位	美容のため

※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。　※「その他」の回答を除いて掲載
（15年 20-34歳　N＝ 518、35-49歳 N＝210、50-64歳 N＝ 208）

・男性では「英語」「簿記」など上位の項目に大きな違いは見られない
・年齢の上昇とともに「書道」「写真」など趣味系の習い事が上位に登場
・一方、「家庭料理」「お菓子」はミドル・シニアでは人気を落としている

男性の過去一年間に実施した習い事・学び事の年齢帯別比較では1位は全年齢を通じ「英語」だが、「ゴルフ」が年齢帯があがるごとに順位をあげる（20-34歳：11位→ミドル3位→シニア2位）。ほかは、「簿記」「ファイナンシャルプランナー」「フィットネスクラブ」「ワード・エクセル」「宅建」など上位の項目に大きな違いは見られない。
詳細を見てみると、シニアで「書道」「写真・カメラ」「社交ダンス」といった他の年齢帯では下位となっている趣味系の習い事が上位にランクインする一方で、20-34歳で上位に顔を見せる「家庭料理」「お菓子」といった料理系の習い事がミドル・シニアでは見られない。

学ぶ目的では、20-34歳とミドルでは大きな差は見られないが、シニアでは「就職・転職のため」が大きく順位を落とし、「プライベートを充実」「好きなことに没頭」「人との出会いづくり」といった項目が順位を上げた。

■この1年間に実施した学び事・習い事 ～年齢帯別・順位比較

20～34歳　男性		35～49歳　男性		50～64歳　男性	
1位	英語	1位	英語	1位	英語
2位	簿記	2位	簿記	2位	ゴルフ
3位	ファイナンシャルプランナー	3位	ゴルフ	3位	フィットネスクラブ
4位	フィットネスクラブ	4位	フィットネスクラブ	4位	簿記
5位	ワード・エクセル	5位	ワード・エクセル	4位	ファイナンシャルプランナー
6位	宅地建物取引士	6位	ファイナンシャルプランナー	4位	宅地建物取引士
7位	ピアノ	6位	テニス	7位	ワード・エクセル
7位	医療（看護・医療事務など）	6位	社会保険労務士	7位	社会保険労務士
9位	ＳＥ・プログラマ	9位	宅地建物取引士	9位	書道
10位	テニス	9位	行政書士	10位	テニス
11位	ゴルフ	11位	税理士	10位	ピアノ
12位	行政書士	12位	ピアノ	12位	行政書士
12位	ＷＥＢクリエイティブ	13位	ＳＥ・プログラマ	13位	韓国語
14位	ギター	13位	ＷＥＢクリエイティブ	13位	中小企業診断士
15位	家庭料理	13位	ヨガ・ピラティス	13位	中国語
16位	お菓子	13位	空手	13位	写真・カメラ
16位	社会保険労務士	13位	司法書士	13位	社交ダンス
16位	中小企業診断士	13位	護身術	18位	司法書士
19位	ヨガ・ピラティス、中国語 中国語、日本料理・懐石料理	19位	ギター、書道、CAD、韓国語、 アクセス、スペイン語、家庭料理	18位	絵画
				18位	ペン字

■学び事・習い事を実施した目的　～年齢帯別・順位比較

20～34歳　男性		35～49歳　男性		50～64歳　男性	
1位	仕事のため	1位	仕事のため	1位	教養・知識を深めるため
2位	教養・知識を深めるため	2位	教養・知識を深めるため	2位	仕事のため
3位	レベルアップのため	3位	レベルアップのため	3位	レベルアップのため
4位	将来に備えるため	4位	将来に備えるため	4位	プライベートを充実させるため
5位	就職・転職のため	5位	就職・転職のため	5位	将来に備えるため
6位	プライベートを充実させるため	6位	プライベートを充実させるため	6位	好きなことに没頭するため
7位	ストレス発散・気分転換のため	7位	ストレス発散・気分転換のため	7位	ストレス発散・気分転換のため
8位	特技を作るため	8位	好きなことに没頭するため	8位	特技を作るため
9位	独立・起業のため	9位	特技を作るため	9位	人との出会いづくりのため
10位	好きなことに没頭するため	10位	独立・起業のため	10位	健康のため
11位	健康のため	11位	健康のため	11位	独立・起業のため
12位	人との出会いづくりのため	12位	人との出会いづくりのため	12位	就職・転職のため

※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。　※「その他」の回答を除いて掲載
（15年　20-34歳　N=518、35-49歳　N=210、50-64歳　N=208）

【学んだ手段】
男女ともに、年齢帯が上がるごとに独学の回答率がダウン

2015年に実際に学んだ手段では、男女ともに通学を選んでいる人が多い一方、独学については男女で大きな差がでる結果となった。
女性のほうがスクールを選ぶ率が高く、男性のほうが独学を選ぶ率が高くなる。通信講座については男女変わらない。さらに女性では、年齢帯が上がるごとに独学や通信講座を選ぶ率が低くなっている。
大学・大学院を選ぶ率は男性の方が高いが、ミドルに比べ、20-34歳・シニアのほうが高い。
また、スマートフォン・タブレットのアプリは男性の20～34歳で利用率が高い。

■学んだ手段（複数回答）

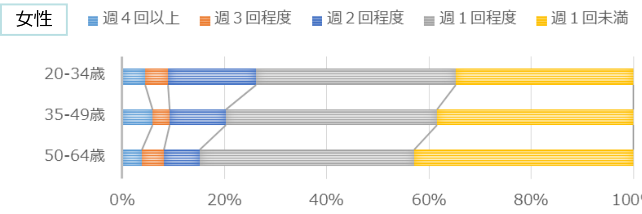
	女性 回答率（%）			男性　回答率（%）		
	20-34歳	35-49歳	50-64歳	20-34歳	35-49歳	50-64歳
スクール・教室に通学	58.9	55.2	58.7	40.9	47.8	44.7
独学（書籍など）	16.6	14.8	13.9	26.3	27.8	18.8
通信講座	18.7	16.2	12.5	20.8	18.2	17.8
ジム、フィットネスクラブ	19.7	19.0	13.5	11.8	8.6	9.1
カルチャーセンター	6.8	10.5	19.2	5.6	4.8	10.6
スマホ・PCでの動画視聴	4.8	5.2	2.9	7.7	5.3	4.8
その他インターネット	2.1	2.4	2.4	5.8	5.3	7.2
テレビ	1.9	3.3	2.4	4.8	7.2	2.4
ＤＶＤ・ビデオ	2.3	2.9	3.4	5.0	4.3	2.4
大学・大学院	1.7	1.9	2.9	5.0	1.9	3.8
スマートフォンやタブレットのアプリ	2.3	1.9	2.4	6.8	2.4	1.0
スマホ・PCでのオンライン教授	2.7	1.9	1.9	3.9	4.3	1.9
自宅などに講師派遣	1.5	2.4	4.8	2.3	2.4	2.4
ラジオ	2.5	1.4	3.4	3.1	2.9	2.4
大学の公開講座	1.7	0.5	2.9	2.1	1.4	1.4
専門学校	1.7	1.0	0.5	3.1	0.5	2.9
DS、Wiiなどのゲーム	0.4	0.0	0.0	1.7	1.4	1.0
留学	1.0	1.4	0.0	0.6	0.5	0.5
その他	5.0	8.6	5.8	3.1	6.2	9.1

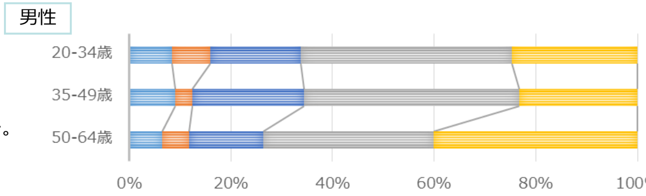
【学んだ頻度】
通学の場合、年齢帯が下がるほど、また男性の方が学ぶ頻度が高くなる傾向

学んだ頻度については、男女ともに年齢が下がる方が頻度が高くなる傾向にある。また、男性のほうが一週間に通う頻度が高い結果となった。仕事のために学ぶことが多い男性のほうが、学ぶと決めたら根を詰めて学ぶコースを選んでいるのではないかと考えられる。

■学んだ頻度（単一回答）

	女性　回答率（%）			男性　回答率（%）		
	20-34歳	35-49歳	50-64歳	20-34歳	35-49歳	50-64歳
週４回以上	3.9	5.2	3.4	6.6	6.7	5.3
週３回程度	3.9	2.9	3.8	6.0	2.4	4.3
週２回程度	15.1	9.5	6.3	14.1	16.3	12.0
週１回程度	34.2	35.7	37.0	32.8	31.1	27.4
週１回未満	30.5	33.3	38.0	19.5	17.2	32.7
通信講座、自宅学習のみ	12.5	13.3	11.5	21.0	26.3	18.3





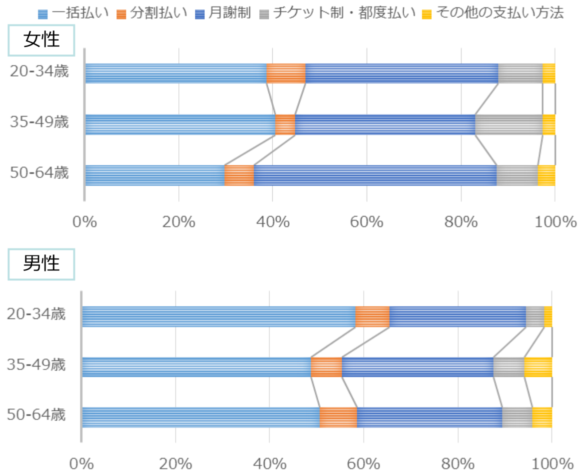
※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。
※右側グラフは通学者のみの割合。
（20-34歳　女性N＝ 518　男性N=518、35-49歳　女性N＝210　男性N=209、
50-64歳　女性N＝208　男性N=208）

【支払方法】
男性は一括払いが多く、女性は月謝制で費用を支払う率が高い 特にシニア女性で月謝制の回答率が高くなる傾向

学んだ際に利用した支払方法では、女性は月謝制を選ぶ比率が高く、男性は一括払いを選ぶ比率が高い結果となった。女性では特にシニアで一括払いの比率が低くなっている。月謝制であることが多いヨガ・ピラティスや趣味系の習い事の比率が高いためと考えられる。

■学んだ際に利用した支払方法（単一回答）

	女性（%）			男性（%）		
	20-34歳	35-49歳	50-64歳	20-34歳	35-49歳	50-64歳
一括払い	35.9	36.7	27.9	48.1	39.7	45.7
分割払い	7.7	3.8	5.8	6.0	5.3	7.2
月謝制	38.2	34.8	48.6	24.1	26.3	27.9
チケット制・都度払い	8.7	12.9	8.2	3.1	5.3	5.8
その他の支払い方法	2.5	2.4	3.4	1.4	4.8	3.8
金額はかかっていない	6.9	9.5	6.3	17.4	18.7	9.6



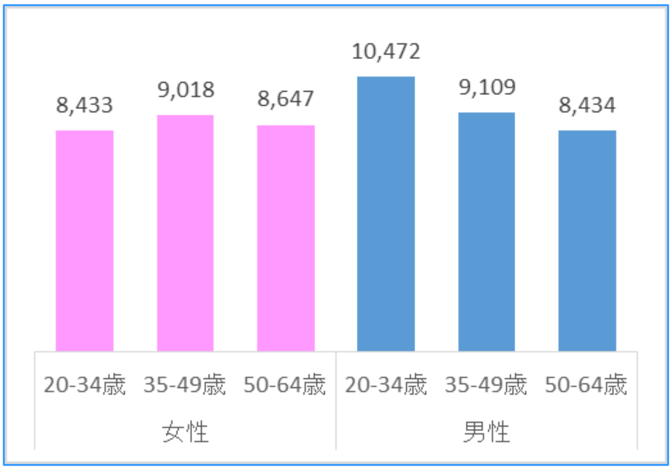
※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。
※右側グラフは「金額はかかっていない」人を除いた割合。
（20-34歳　女性N＝ 518　男性N＝518、35-49歳　女性N＝210　男性N＝209、
50-64歳　女性N＝208　男性N＝208）

【支払金額】
月謝制で20～34歳男性、一括払いはシニア男性で金額が上がる結果に。

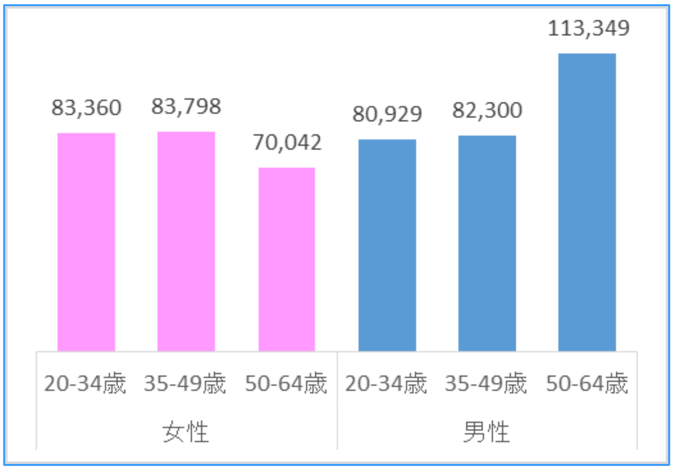
実際に支払った金額の平均値は、月謝制では女性は年齢帯での差はあまりない一方で、男性の場合は年齢帯が上がるごとに低くなる傾向となった。
また一括払いの総額を聞いたところ、他の年齢帯と比べ、シニアの男女の支払金額の差が目立つ結果となった。シニアでは、一括払いの高額講座も多いビジネス系国家資格の実施率に、男女で大きな差が出ているためと考えられる。

■学び事・習い事にかけた金額（月謝制で払っている人／一括払いをした人）

月謝制　月当たりにかけた金額（平均）（単位　円）



一括払い　総額（平均）（単位　円）



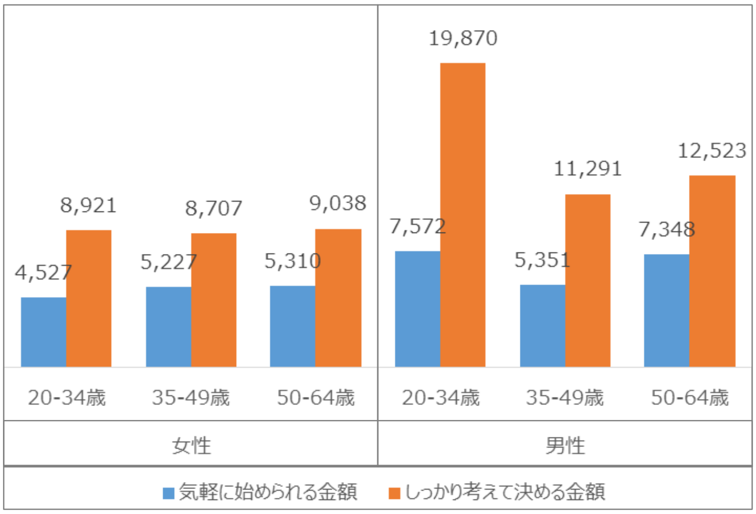
※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。
（月謝制　女性　20-34歳N=198　35-49歳N=73　50-64歳N=101、男性　20-34歳N=125　35-49歳N=55　50-64歳N=58）
（一括払い　女性　20-34歳N=186　35-49歳N=77　50-64歳N=58、　男性　20-34歳N=249　35-49歳N=83　50-64歳N=95）

趣味目的の学び事への予算額は、
女性では年齢帯による差はあまりなく、男性ではミドルで低くなる

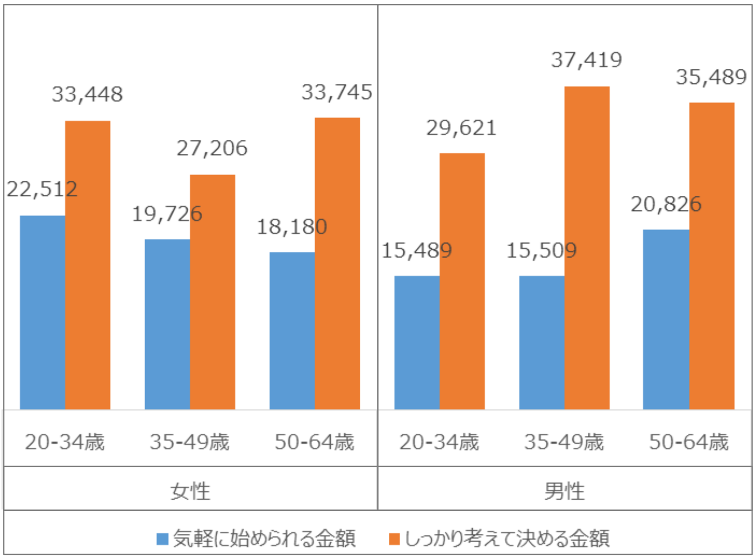
仕事や資格取得目的では、「気軽に始められる金額」の平均額は
年齢帯とともに女性は低下傾向、男性は上昇傾向となっている

学び事・習い事にかけられる金額・予算感について調べるため、「気軽に始められる金額」「始めるかどうかしっかり考えて決める金額」に分けて聞いた。
趣味目的の習い事では、女性は「気軽に始められる金額」「考えて決める金額」とも年齢帯による差はあまりなかった。一方男性の場合は、ミドルでいったん下がり、シニアで再度上がる結果に。この年齢帯では既婚者を中心に、自由になるお金が小さくなっているためと考えられる。
また、仕事・資格取得の目的の場合、気軽に始められる金額は、女性は年齢とともに低下、男性はシニアで上昇する結果となった。ケイコとマナブ総研では、男性は定年を前に、「第二の人生のための投資にはある程度お金がかかる」と認識しがちなのではないかと推定している。

**◆趣味目的の
習い事にかけられる金額**
（1カ月あたり　単位：円）



**◆仕事や資格取得の目的での学び事に
かけられる金額**
（目標達成までの総額　単位：円）



※定期的に行う習い事や学習、1回完結レッスン、短期集中講座、通信教育を含む。
（15年 N＝20-34歳　女性518　男性518、35-49歳　女性210　男性209、50-64歳　女性208　男性208）

調査概要と回答者プロフィール

【人気おケイコランキング ミドル・シニア編　調査概要】

調査目的： 35～49歳（ミドル）、50～64歳（シニア）の学び事・習い事の実態を把握するとともに、今後の意向を確認する

調査対象者：全国35～64歳の働く男女
（株式会社マクロミルのモニターにスクリーニングを行い、
学び事・習い事を「1年以内にしたことがある」と回答した者に対して実施）

調査方法： インターネットアンケート調査

調査期間： 2015年12月11日(金)～2015年12月13日(日)

回収数：

	女性	男性
35～49歳	210	209
50～64歳	208	208

あらかじめ設定した下記の6ブロックの地域から、平成22年国勢調査の人口比率で男女／年齢帯別に回収
- ・北海道・東北地方（北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）
- ・関東地方（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県）
- ・中部地方（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県）
- ・関西地方（大阪府、京都府、奈良県、兵庫県、滋賀県、和歌山県）
- ・中国・四国地方（岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県）
- ・九州・沖縄地方（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）

【回答者プロフィール】

◆ 居住地

	女性		男性	
	35～49歳	50～64歳	35～49歳	50～64歳
北海道・東北	11.0%	13.0%	10.5%	12.5%
関東	34.8%	31.3%	36.8%	32.2%
中部	18.1%	18.3%	18.7%	18.8%
関西	17.1%	15.9%	15.8%	15.4%
中国・四国	8.6%	9.6%	8.1%	9.1%
九州・沖縄	10.5%	12.0%	10.0%	12.0%

（参考　20~34歳調査時）

20～34歳	女性	男性
北海道・東北	11.0%	10.8%
関東	34.7%	36.7%
中部	18.0%	18.0%
関西	17.0%	15.8%
中国・四国	8.5%	8.1%
九州・沖縄	10.8%	10.6%

◆ 雇用形態

	女性		男性	
	35～49歳	50～64歳	35～49歳	50～64歳
会社員、契約・派遣社員	57.1%	29.8%	73.7%	59.6%
公務員・団体職員	3.3%	3.8%	7.7%	13.5%
自営・フリーランス	5.2%	14.9%	14.8%	23.6%
アルバイト・パート	34.3%	51.4%	3.8%	3.4%

（参考　20~34歳調査時）

20～34歳	女性	男性
会社員、契約・派遣社員	70.5%	80.7%
公務員・団体職員	3.9%	5.8%
自営・フリーランス	3.9%	6.2%
アルバイト・パート	21.8%	7.3%

【学び事・習い事選択肢一覧】

1	英語
2	フランス語
3	イタリア語
4	スペイン語
5	中国語
6	韓国語
7	ワード・エクセル
8	アクセス
9	ＷＥＢクリエイティブ
10	ＤＴＰ
11	ＳＥ・プログラマ
12	簿記
13	宅地建物取引主任者　※１
14	税理士
15	行政書士
16	司法書士
17	ファイナンシャルプランナー
18	中小企業診断士
19	社会保険労務士
20	公認会計士
21	ビジネススクール・MBA
22	インテリアコーディネーター
23	ＣＡＤ
24	ライター・編集・シナリオ
25	心理・カウンセリング
26	医療（看護・医療事務など）
27	ホームヘルパー
28	幼児教育（保育士・ベビーシッターなど）
29	ブライダルコーディネーター
30	エステティシャン
31	整体・マッサージ
32	トリマー
33	ヴォーカル・カラオケ
34	ゴスペル
35	ピアノ
36	バイオリン
37	フルート
38	サックス
39	ウクレレ
40	ギター
41	ドラム
42	琴
43	三味線・三線
44	絵画
45	陶芸
46	ジュエリー・アクセサリー
47	編み物・刺しゅう
48	写真・カメラ
49	家庭料理
50	フランス料理

51	イタリア料理
52	中華料理
53	エスニック料理（ベトナム、タイ、インド）
54	日本料理・懐石料理
55	薬膳・漢方　※2
56	パン
57	お菓子
58	お茶（紅茶、煎茶、中国茶）
59	ワイン・チーズ
60	食育　※2
61	メイク
62	カラー（コーディネート、セラピー）
63	ネイル
64	アロマテラピー
65	リフレクソロジー
66	茶道（抹茶）
67	マナー・フィニッシング
68	着付け
69	フラワーアレンジメント
70	プリザーブドフラワー
71	生け花
72	ガーデニング
73	書道
74	ペン字
75	フィットネスクラブ
76	エアロビクス・ボクササイズ
77	ゴルフ
78	テニス
79	乗馬
80	ダイビング
81	サーフィン・ボディーボード
82	ボルダリング　※2
83	ヨガ・ピラティス
84	ウォーキング
85	太極拳
86	護身術
87	空手　※2
88	日本舞踊
89	社交ダンス
90	バレエ
91	ジャズダンス
92	ストリートダンス
93	タップダンス
94	フラメンコ
95	フラダンス
96	サルサ
97	アルゼンチンタンゴ
98	ベリーダンス
99	その他

※1　現　宅地建物取引士
※2は本年度より選択肢に追加

【調査概要一覧】

	総回収数	調査期間	対象者※		調査方法
			性別	年齢	
2015年度	835 名	2015年12月11日～13日	女性・男性	35～64歳	インターネットアンケート
2014年度	1036 名	2014年12月12日～14日	女性・男性	35～49歳	
2013年度	1036 名	2013年12月14日～16日	女性・男性	35～49歳	

※株式会社マクロミルのモニターにスクリーニングを行い、学び事・習い事を「１年以内にしたことがある」と答えた者のうち、「学生」「専業主婦」「無職」を除く者に対し実施。